

美しい多摩川フォーラム 令和元年度・第2回運営委員会議事録

日 時：令和2年1月22日(水) 15:00～16:30

会 場：立川グランドホテル(JR立川駅北口)3階サンマルコ

出席者：会長 細野 助博 中央大学名誉教授
副会長 小倉 紀雄 東京農工大学名誉教授
平野 啓子 語り部・かたりすと、大阪芸術大学教授
委員 宮田 満裕 羽村市産業環境部産業振興課長
池田 優 狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任
小澤 順一郎 青梅商工会議所会頭
金澤 克美 東急(株)社長室サステナビリティ推進グループ企画担当課長
早乙女 尊幸 小田急電鉄(株)CSR広報部調査役
川村 栄 森林総合研究所多摩森林科学園総務課長
空閑 浩一 (公財)東京市町村自治調査会総務課長
凶師 真吾 (公財)東急財団事務局環境部長
山崎 充哲 ふれあい移動水族館館長
坂本 達也 (株)JT東京多摩支店営業第一課長
馬場 真人 (株)近畿日本ツーリスト首都圏立川支店
梶田 俊樹 富国生命保険(相)立川支社市場開発グループ課長
松本 朗 (特非)緑の大地会副理事長
藪田 雅弘 中央大学経済学部教授
滝井 寛 明星大学事務局次長兼地域交流センター長
アドバイザー 澤田 實 東京シティガイド

(敬称略、以下同様)

配布資料：(第1号議案)令和2年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(資料 1)第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/7)

(資料 2)大田区より第11回・寄付金の贈呈(12/23)

(資料 3)「多摩川夢の桜街道」サイトに掲載する桜ウォーキングコース作成
および下見(12/26、1/9、1/16)

(資料 4)「多摩川酒蔵街道」スタンプラリー当選者に賞品発送(1/31)

(資料 5)第11回“美しき桜心の物語”の語り会(3/28)

1. 開会 (運営委員会成立の確認、資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム令和元年度第2回運営委員会を始めさせていただきます。本日の運営委員会は、出席委員、代理出席委員、書面議決書提出委

員合せて55名で運営委員総数の過半数を超えておりますので、フォーラム規約第13条3項の規程により、本委員会が成立しておりますことをご報告いたします。

始めに、新しい事務局体制をご紹介させていただきます。本年1月1日付で、美しい多摩川フォーラム事務局担当役員で地域貢献部長であった野村専務理事に代わって、青梅信用金庫常務理事の塩野が就任しました。先に、野村より一言ご挨拶を申し上げます。

(青梅信用金庫専務理事 野村 正男)

改めましてこんにちは。いま、及川から説明がありましたが、1月1日付の人事異動により、わたくし野村から隣の塩野が地域貢献部長となりました。とは言え、わたくしは今まで通り、多摩川フォーラムを一生懸命応援していきますので、皆さまにおかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

それでは塩野より一言ご挨拶を申し上げます。

(青梅信用金庫常務理事 兼 地域貢献部長 塩野 謙二)

皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました塩野でございます。この多摩川フォーラムを、皆さんと共に精一杯頑張っていきたいと思っておりますし、さらに盛り上げていきたいと考えておりますので、今まで以上にご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(事務局)

事務局一同、これまで同様にフォーラム事務局をしっかりと運営していく所存ですので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは「多摩川の歌」の普及策の一環として、皆様にもぜひ親しんでいただきたいということで、本日は歌詞朗読バージョンでお聞き下さい……(省略)。

本日初めて運営委員会にご出席される方をご紹介いたします。

(森林総合研究所多摩森林科学園総務課長 川村 栄 様)

川村と申します。本日は、園長の山田が出張のため、私が代理出席させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は平岡副会長が信金業界の会合と重なったため、欠席となりました。

会議の進行に移ります。その前に資料の確認ですが……(省略)。

それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

2. 細野会長挨拶

(細野会長)

皆さん、新年明けましておめでとうございます。と申しましても、すでに1月22日でございます。今日は、令和元年度・第2回運営委員会ですが、最近、寒暖の差が激しくて風邪や感染症が流行っておりますので、どうぞお気を付けてください。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 経過報告

(事務局)

経過報告に入ります。前回の運営委員会以降の活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示しておりますが、その中から本日は(1)番の活動につきましてビデオにまとめておりますので、入口のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

(1) 第12回多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/7)【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。ただ今、ビデオをご覧いただきましたが、今年度は6団体の発表がありました。当日は、細野会長を始め、平岡副会長、山崎運営委員、滝井運営委員、笹木アドバイザー、奥山アドバイザーにご協力いただきました。大変有り難うございました。本件につきまして、特別講話をしていただいた山崎運営委員に一言お願いします。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

合計で12年間、このイベントに関わってきました。この期間、子どもたちも進歩しています。昔は「外来種は悪い」と言っていたのに、今回は「外来種とどう付き合えばよいか」等、子どもたちの色々な考えが出てきて大変素晴らしいと思います。今後も子どもたちがどんどん進歩していき、大人のほうを考えさせられるテーマが出てきたりすることもあると思うので、皆さんもぜひ子どもたちの話を聞きに、昭島市のフォレスト・イン昭和館に来てください。

(事務局)

有り難うございました。今年は12月5日(土)に予定しておりますので、よろしく申し上げます。

(3) 大田区より第11回・寄付金の贈呈(12/23)【資料2】

- ・ 【資料2】をご覧ください。12月23日に大田区役所区長室において、松原区長より

細野会長に第11回目となる寄付金170,000円が贈呈されました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川夢の桜街道」事業に役立ててまいります。

(4)「多摩川夢の桜街道」サイトに掲載する桜ウォーキングコース作成および下見

(12/26、1/9、1/16)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。昨年3月に、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所」をリニューアルし、朝日新聞やTBSラジオに取り上げていただくなど、大変大きな反響がありました。今年の春は、桜の札所巡りをさらにPRしていくため、「多摩川夢の桜街道」サイトに桜ウォーキングコースを掲載する方向で準備を進めております。具体的には、事務局でオリジナルの18コースを作成し、今年はその中から多摩川下流・中流・上流各2コース、全部で6コースを選定、『「多摩川夢の桜街道」おすすめ！てくてくコース』と題して掲載する予定です。裏面は6コースのうちの一つ、「青梅宿タイムスリップコース」になります。事務局では、ホームページに掲載する前に、内容に問題がないか、コースの下見を実施しております。現在のところ、6コース中3コースの下見が終了したところです。

～以下、当面の予定～

(5)「多摩川酒蔵街道」スタンプラリー当選者に賞品発送(1/31)【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。9月1日からスタンプラリーの応募を開始し、12月31日を以って締め切りました。4ヵ月間で応募総数は145先に達し、今月7日に厳正なる抽選をおこない、当選者を確定しました。2枚目をご覧ください。145先のスタンプラリー応募者データ分析シートになります。ご覧のとおり、多くの地域から応募があったことがわかり、スタンプラリー実施の効果があったものと考えております。なお、賞品の発送は、今月末を予定しており、日本酒5蔵飲み比べセットとして300ml 5本プラス多摩川酒蔵街道ロゴ入りオリジナルお猪口1個を20名様に、5蔵いずれかの300ml1本プラス多摩川酒蔵街道ロゴ入りオリジナルお猪口1個を30名様に、合計で300ml130本をプレゼントする予定ですが、130本のうち50本を、具体的には各酒蔵様から10本ずつをご協賛いただきました。心より御礼を申し上げます。本件につきまして、各酒蔵様の取り纏めから日本酒の協賛に至るまで、スタンプラリー事業に全面的にご協力いただいた小澤運営委員に一言申し上げます。

(青梅商工会議所会頭・小澤酒造株式会社代表取締役会長 小澤 順一郎 様)

西多摩には酒蔵が5蔵あり、酒造組合西多摩支部という組織もございます。ただいま事務局からお礼の言葉をいただきましたが、こちらこそ業界のPRをしていただき有り難うございます。私のほうにも「どこがどういう組織でやっているのか」というような問い合わせ

をメールでいただき、「それがわかってもらわなくてもいいじゃないか」と内心思いましたが、「自分たちでやっているわけじゃないよね」という確認をしつつ、美しい多摩川フォーラムに関心を持たれた方もそれなりにいらっしやっただのではないかと思います。いずれにしても、多摩川流域に酒蔵が5蔵あるということを知っていただくことが、我々業界や地域の発展、また多摩川の意識を向上させるきっかけになれば嬉しいと思います。今回、プレゼントに当選された方は、オリジナルのお猪口を手にする度に「多摩川酒蔵街道」が頭に浮かぶと思いますので、本当に感謝しております。有り難うございました。

(8) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

- ①第13回桜コンシェルジュ展にて「多摩川夢の桜街道・桜の札所八十八カ所」写真展を開催(3/20～4/12)(立川市・国営昭和記念公園花みどり文化センター)
- ②第11回“美しき桜心の物語”の語り会(3/28)(日の出町・寶光寺、平野啓子副会長)【資料5】
 - ・【資料5】をご覧ください。今年の春は、日の出町様と日の出町観光協会様のご後援のもと、第11回“美しき桜心の物語”の語り会を開催します。場所は、日の出町にある寶光寺の客殿を予定しております。寶光寺と言えば、境内の鹿野山に平成30年4月に造立された鹿野大佛が、鎌倉大仏より大きいということでちょっとした話題になり、春先は、周辺の桜がきれいなこともあって、多くの観光客で賑わう新名所になりました。なお、3月2日より申込受付を開始します。本件につきまして、全面的にご協力いただき、ご出演される平野副会長に一言お願いします。

(平野副会長)

またこの時期が近づいて来たなと思っております。桜の開花時期に合わせてイベントを開催するのはなかなか難しいのですが、事務局では開催地での過去の開花状況を調査し、日程を調整してくれていますので、私も深みのある公演にしなければならないと思っております。お陰様でこのイベントも定着してきたのか、お客様もすぐに集まるようになりました。細野会長にも毎年いらしていただき、瀬戸内寂聴さんの「しだれ桜」をととても良いとおっしゃってくださるので嬉しく思っております。鹿野大佛建立の途中経過は拝見しているので、今回、完成した大仏を見るのを楽しみにしています。

先ほどの経過報告で、大田区から17万円の寄付があったとのことですが、行政や民間企業が団体にお金を出すというのは、このご時世でなかなか難しいところを、多摩川フォーラムは頑張っているなと思いました。鹿野大佛を金箔で貼れるほどお金が集まると良いなと思います。多摩川フォーラムは、細野先生をトップにいただいているからこそ周りからも信用をいただけますし、色々なところで学者の先生や行政の方に会っても、このフォーラムの活動についてすんなりと納得していただけます。また、お金という面については、青梅信用金庫内に事務局があるということで、金銭面でも信用していただけま

すので、すごいフォーラムだなと思っております。

先日、府中市の賀詞交歓会に出席した際、つい最近自民党に移籍した長島昭久先生にお会いしました。自民党に移られたので、もしかしたらフォーラムの役員を退任されているかもしれないと思いながら、「実はわたくし、多摩川フォーラムの副会長をしております平野啓子です。先生にも以前お世話になっておりまして・・・」と申し上げたら、即座に「わたし、まだやっていますよ！」と強い声で返されました。その声の感じからも、そしてその後2～3分の多摩川フォーラムに関する会話の中からも、長島先生が多摩川フォーラムと関わっていることを大変誇りに思っていることが分かりました。私としてもものすごく嬉しいことでした。また、井上信治先生も見守ってくださっていることですし、これから私もしっかりと務めていきたいと思っております。

公演内容の「しだれ桜」は、女性の心が如実に描かれている作品ですので、これから女性の時代と言われる今、女心を知っていただく良いチャンスだと思いますので、ぜひ多くの方にお申込みいただきたいと思っております。

(事務局)

とても良い話をいただき、有り難うございました。長島先生には多摩川フォーラムの顧問をお願いしており、事務局でも毎回丁寧に事業報告あるいは実施報告をしておりますが、そういった認識を持っていただいていることをお聞きして感銘を受けました。有り難うございました。

事務局からの経過報告は以上です。細野会長、よろしく願いいたします。

(細野会長)

事務局からの経過報告で、ご質問やご意見などございますか。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

「多摩川酒蔵街道」の5蔵飲み比べセットについて、一般販売は考えていないのでしょうか。

(事務局)

多摩川フォーラムとしての販売は難しいのですが、酒造組合西多摩支部でのお考えがあるかもしれませんので、小澤運営委員にマイクを向けさせていただきます。

(青梅商工会議所会頭・小澤酒造株式会社代表取締役会長 小澤 順一郎 様)

この飲み比べセットは、多摩川フォーラムが各蔵からお酒を買って、セットにしています。販売するには免許が必要になりますので、多摩川フォーラムは売るのではなく、自分で買ったものをお客様に差し上げているスタイルになります。これを売るには、5蔵と

取引のある卸売業者が企画しないとダメなのですが、5蔵全てを取り扱っているところは東京都酒造組合しかないので、東京都酒造組合が「やる」と言えばできるのですが、東京都酒造組合は東京都全蔵のセットをつくっており、西多摩だけのセットをつくることは公平性に欠けるからやっています。ということは、事実上無理なのです。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

私が5蔵から買って、自宅でセットしたらダメですか。

(青梅商工会議所会頭・小澤酒造株式会社代表取締役会長 小澤 順一郎 様)

セットできても免許が必要なので売ることはできないです。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

そうですね……。もったいないですね。

(青梅商工会議所会頭・小澤酒造株式会社代表取締役会長 小澤 順一郎 様)

私のほうにも、このセットが欲しいと言ってきた方が結構いらっしゃいました。

(事務局)

この事業は来年も継続実施したいと考えております。お猪口や梱包資材の一部は、購入最低ロット数の関係から、既に5年分を手配済ですので、ぜひご応募いただき、当選を目指していただければと思います。

(細野会長)

飲み比べセット、欲しいですね。どうやったら手に入るのかと、私も思います。

(事務局)

事務局にもそういった声が届いており、販売したいのですが、免許がないので心苦しいところです。

(細野会長)

分かりました。他にご質問やご意見はありますか。ないようですので、本日の協議事項に入りたいと思います。第1号議案の「令和2年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)」について、事務局から説明をお願いします。

4. 協議

(1) 第1号議案:令和2年度事業計画骨子・同予算(事務方素案)

(事務局)

【第1号議案】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,850,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,751,278円と合わせて合計では12,851,278円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として、3,150,000円、各種活動費として5,350,000円を計上しております。なお、運営費の3活動部会について、今年度は年5回開催しますが、部会長・副部会長と相談した結果、1回減らして年4回の開催を計画しております。ビデオレター制作費につきましては、経年劣化に伴う広報用ビデオカメラ、デジカメの購入を計画しております。また、広告宣伝費として、ケーブルテレビ等と連携した事業案内等のCM放映を計画しております。これについては、後ほど意見交換でも説明させていただきます。次に、活動費の多摩川酒蔵街道事業につきましては、好評を博したスタンプラリーの2年目を計画しております。「美しい多摩川フォーラムの森」の保全整備ですが、令和3年3月末を以って10年契約が満了となります。なお、看板につきましては、撤去費用として150,000円を見込んでおりますが、美しい多摩川フォーラム「御岳の森」に移設し、再活用を検討しております。また、「多摩の物語」の掘り起こし調査が新規事業になります。現在、平野副会長のご協力のもと具体的な調査エリアを検討しており、令和3年度に、調査した民話や昔話を冊子に纏める計画です。この結果、次期繰越金見込額は4,351,278円となり、合計では、12,851,278円となります。

次ページは、令和2年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。教育文化軸の「炭焼き体験と水辺の交流会」について、1点だけ補足説明をさせていただきますと、昨年10月の台風19号で、炭焼き小屋の窯とログハウスが増水によって流され、大きな被害を受けました。その後、11月の運営委員会や12月の三部会合同部会では、「炭焼き体験と水辺の交流会」をどう実施していくか喫緊の課題として取り上げ、「御岳の森」の今後について、議論を重ねてまいりました。

これを踏まえ、本日は事務局から3つの具体的な提案をさせていただきます。提案①として、窯はそっくり流されてしまったものの、今残されている炭焼き小屋の屋根と柱は、当面の間そのまま残して何らかの活用を検討する。提案②として、毎年、大人気の「炭焼き体験と水辺の交流会」については、従来の「竹炭」から、移動式の窯を使用して比較的簡単にできる「花炭」に変更する。提案③として、完全に流されてしまったログハウスに代わるものとして、奥多摩フィッシングセンターのバーベキュー施設を利用する。以上の3点を提案します。因みに、花炭は、松ぼっくり、枝、葉っぱ、折り鶴など、有機物であれば何でも簡単に、比較的短時間で炭にすることができ、子どもから大人まで手軽に

楽しむことができるそうです。

次ページをご覧ください。今年度の事業活動につきましては、台風19号の被害で、美しい多摩川クリーンキャンペーンや多摩川カヌー駅伝大会等のイベントが中止になるなど、大きな影響がありました。なお、多摩川カヌー駅伝大会は3年目であった今年度の中止を以って終了となります。また、多摩川河川事業につきましては、大きく上振れしておりますが、これは11月の運営委員会でご承認いただいた広報誌「多摩川っ子&みんなの発表誌」を3月に発行することによります。そのほかは、ほぼ計画どおり進めております。

次ページは、令和元年度活動報告と今後の予定になります。後ほどゆっくりとご覧ください。以上で、第1号議案の説明を終わります。細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

「炭焼き体験と水辺の交流会」の継続実施について、ただいま事務局より具体的な3つの提案がありました。一つ目として、窯はそっくり流されてしまったものの、今残されている炭焼き小屋の屋根と柱は、当面の間そのまま残して何らかの活用を検討する。二つ目として、毎年、大人気の「炭焼き体験と水辺の交流会」については、従来の「竹炭」から、移動式の窯を使用して比較的簡単にできる「花炭」に変更する。三つ目は、完全に流されてしまったログハウスに代わるものとして、奥多摩フィッシングセンターのバーベキュー施設を利用するということです。

また、多摩川カヌー駅伝大会は終了、広報誌「多摩川っ子&みんなの発表誌」について、が主な変更点となります。それでは皆さん、ご質問やご意見がございましたらお願いします。ないようですので、ご承認いただけますでしょうか・・・(拍手)。

なお、第1号議案は、あくまで事務方素案であり、最終的には、総会提出議案を審議する3月12日開催の第3回運営委員会にて決定されますことをお含みおきください。

有り難うございました。以上で、協議事項が終了しました。それでは、意見交換に移ります。事務局から説明をお願いします。

5. 意見交換

(1) フォーラムPR動画の活用について【ビデオ放映】

(事務局)

令和2年度は、広告宣伝費を計画しているように、フォーラム活動を新しい切り口でPRしていきたいと考えております。早速ですが、事務局で制作中のフォーラムPR動画をご覧ください。

(細野会長)

皆さん、いかがでしたでしょうか。私には字が小さすぎて見えませんでした。動画を

ご覧いただいた感想やご質問、活用方法について、ご提案等ありましたら、どうぞ。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

広告宣伝費24万円ということですが、たとえばラクスルで24万円分印刷すると、片面で20万枚も刷れます。どう配るかは考えないといけません。今のビデオで24万円以上の会員入会が見込めるかどうかについて、いかがお考えでしょうか。

(事務局)

この24万円は、放映料として設定しております。ビデオ制作費は事務局手作りのため、掛かっておりません。このビデオを多摩ケーブルテレビやJCOMでCMとして放映し、事業のご案内チラシをCMの後に合わせて流してもらうことを想定しております。「多摩川フォーラムはこんなことをやっていて、直近でこんなイベントがあるよ」とPRできるのではないかと考えて制作しました。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

ここにお集まりの皆さんの中で、自宅で有料チャンネルを契約している方は何人いらっしゃいますか。挙手をお願いします。3名しかいらっしゃいません。ケーブルテレビで放映しても会員が増えるとは思えません。それよりは、24万円分の切手や封筒を買って、「みんなの発表誌」を学校や会員に配るのも一考かと思います。

(事務局)

今回なぜ、このPR動画を制作したかと申しますと、昨年10月9日の三部会合同部会で、事務局で制作した「多摩川カヌー駅伝大会」のCMを見ていただいたところ、堤運営委員から「このクオリティであれば、CM を多摩川フォーラム会員募集に活用したらドドドっと増えるかもしれませんね」というご意見をいただき、制作に着手した経緯があります。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

制作すること自体は良いと思うのですが、この人数で3人しか有料チャンネルを申し込んでいないのに費用対効果を考えたらどうなのか、ということです。

(事務局)

貴重なご意見をいただき、有り難うございます。事務局でよく検討します。

(細野会長)

他にご意見はありますか。

(平野副会長)

このPR動画の存在を知る前、広報活動について、ホームページだと情報を取りに行かないといけないので、「送り出し」という視点で、会員にメルマガを配信したらどうかと提案しましたが、事務局からの回答は、色々な理由でもう少し慎重にいかないと、ということでした。PR動画は、送り出しのツールという意味では良いのではないかと思います。この動画はニュース枠に入れてもらえるのでしょうか。動画や事業についてキャスターから説明をしてもらえるのでしょうか。

(事務局)

そこまでいければ一番良いのですが、予算的にどこまでやってもらえるのか、これからの交渉になりますので、わかりません。

(平野副会長)

せっかくだから番組の中でも触れてもらいたいですよね。そこは交渉も必要だと思います。私がNHKにいた時、番組出演だけではなくて編集も付き合っていました。文字が大きくても小さくても、早口で3回読める長さを見せないと、見て取れないと言われました。今は時代が変わって、もっと素早く読めたとしても、この動画は1回も読み切れないくらい画面が素早く変わるので、検討する必要があるのではないかと思います。

メルマガを提案した私としては、メルマガは文字情報と写真1枚くらいしか入らないので、メルマガに動画が入れば良いと思っていただけですので、動画が上手く活用できる方法がつかめればと思います。

(細野会長)

有り難うございました。他にご意見はございますか。要はメディアをどうするかです。YouTube等もありますが、どういう形にしたら見る人が増えるかということです。せっかく良いものをつくっても、誰も見ないのであればもったいないので、そのあたりを検討してください。また、山崎運営委員がおっしゃるように、費用対効果も考えてみてください。他にご意見がないようでしたら、(2)今後のフォーラム活動について、事務局から説明をお願いします。

(2) 今後のフォーラム活動について

(事務局)

12月の三部会合同部会では、炭焼き体験と水辺の交流会をどう継続していくか、そして多摩川カヌー駅伝大会に代わる新たな親水事業についてもご意見をいただきました。新たな親水事業として「川釣り」という提案もありました。事務局では、今年度、羽村市主催の「川釣り体験」に協力する形で事業連携した実績を活かし、事業化の検討を始

めたところですが。今日は役員の皆さんに、来年度以降の当フォーラムの活動について、ぜひ新しいアイデアやご意見をいただきたいと存じます。

(細野会長)

折角の機会ですので、ご質問やご提案等ありましたら、ぜひお願いします。それでは、時計回りで全員にお願いしましょうか。どうぞ。

(羽村市産業環境部産業振興課長 宮田 満裕 様)

宮田と申します。本日は市長の並木が公務で欠席のため、代理で出席しております。ただいま事務局からご紹介がありました通り、今年度は羽村市と八丈島の子どもたちとの交流事業として、本土に八丈島の子どもたちを招き入れる事業をおこないました。令和2年度も同様に、議会に事業計画予算案を上程するところですが、引き続き、これらの事業を通じて、八丈島の子どもたちに多摩川の美しさを訴えていきたいと思っております。多摩川フォーラムのホームページに「川釣り」事業のビデオレターが掲載されており、そのことは私のほうから八丈島の皆さんにお伝えしています。こういった取り組みも必要ですが、台風19号でグラウンドが崩壊した羽村市にとって、復旧も喫緊の課題です。命の源となる多摩川を、いつもの姿に戻していきたいと考えております。

(青梅商工会議所会頭・小澤酒造株式会社代表取締役会長 小澤 順一郎 様)

私の立場としては、「多摩川酒蔵街道」を通じた多摩川フォーラムの認知と、多摩川の地域的なイメージに繋がるよう協力をさせていくことだと考えております。

(中央大学経済学部教授 藪田 雅弘 様)

近隣の活動等を見ておりますと、もっとインターナショナルに、グローバルに展開しなければならないと考えております。2020年は訪日客が増えるので、チャンスだと思うのです。日本語だけではなく、いくつかの言語で発信できれば良いのではないのでしょうか。特に「多摩川酒蔵街道」については、「えっ、東京にそんな所があるの？」と驚かれると思うのです。ひとつの発信のチャンスだと思います。また、以前はフォトコンテストを実施していたと思います。今はInstagramの時代で、素人でも良い写真が撮れます。春になれば「多摩川夢の桜街道」があります。桜の札所で素敵な写真が撮れば、Instagramに掲載され、だんだんと展開されていく気もします。

(細野会長)

前々からホームページの英文化、中文化は検討しているのですが、なかなか先立つものがなくて、実現できていません。例えば、中央大学の国際センターあたりで安くできるならと考えておりますので、藪田先生、ぜひよろしく願いいたします。

(公益財団法人東急財団事務局長環境部長 函師 真吾 様)

藪田先生の話の受け売りですが、多摩川があまりにも外国人に知られていないのではないかと、財団内部、あるいは財団選考委員から何度も指摘を受けています。パリと言えばセーヌ川、ロンドンと言えばテムズ川がピンと来るのですが、どのくらいの外国人が東京＝多摩川を想起するのでしょうか。非常に心細いところがあります。一方で、国を挙げて羽田空港の拡張工事をおこなっていて、着陸する飛行機からは否応なしに多摩川が見えます。私が自転車で多摩川の河口まで下っている時に、羽田の国際線ターミナルの上に大規模な開発をしているのを目にしました。そこにホテルや複合商業施設ができるようです。そこを利用する方も多摩川を目にするはずで。そういう時に、それをどのように訴求していくかが重要なことだと思いますし、チャンスだと思っています。ご存じの通り、都市河川の中でこれだけ豊かな自然を抱えている多摩川は、世界的にもあまり例が無いのではないかと思いますので、そういったことをいかに海外の方に知っていただくかが重要だと思います。いま、メディアを通じた拡散についての話がありましたが、予算的な問題もありますので、多摩川フォーラムの日々の活動をいかに外国の方に訴求していくかを深めていくだけでも非常に良いものができくるのではないかと思います。私が勤めている渋谷の街に、いまこれだけの外国人が来ていることを、入社時は想像もしていませんでした。やれば上手く変わっていくと思いますので、そういった考えを少し進めていくだけでも良いと思います。

(細野会長)

有り難うございました。いまのお話について、予算化はできそうですか。

(公益財団法人東急財団事務局長環境部長 函師 真吾 様)

財団としては事業が決まっておりますので難しいですが、財団で子どもたちに副読本を配っておりますので、将来的に発展させて、外国人向けのコンテンツができないかという考えはあります。しかし、小学生向けの副読本をつくるという名目で公益申請をしておりますので、役所との関わりもあり、予算や時間的なものもあるので、そういうところに引っかけられない形で手づくり感のあるようなものができるか、漠然と考えております。

(小田急電鉄株式会社CSR広報部調査役 早乙女 尊幸 様)

我々が小さいころ、当たり前のように川で遊んでいたことが、今は河川敷で野球やサッカー等、小ぎれいな遊びに移ってしまっています。今一度、多摩川河原の石の成り立ちや種類、水中昆虫、河原に生えている植物等を学んだり遊べたりするイベントがあると、子どもたちは多摩川に興味を持ってくれるのではないかと思います。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 馬場 真人 様)

事務局に質問です。台風19号の影響で、「御岳の森」の炭焼き小屋が流されたという被害状況は把握しておりますが、その後の復旧状況や奥多摩フィッシングセンターの現状が分かれば教えてください。

(事務局)

奥多摩フィッシングセンターは12月から営業を再開しました。復旧までに相当な時間を要しました。しかしながら、近くの御岳小橋は流されたままですし、遊歩道は所々寸断されています。今日は青梅市さんが欠席ですが、倒木の撤去等、遊歩道の復旧には少なくとも3月までかかり、4月以降にならないと安心して歩ける状況にはならないとのことです。このような状況下、春先の清掃活動計画について、青梅市さんと慎重に協議している最中です。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏立川支店 馬場 真人 様)

ということは、炭焼き小屋の周りは片付いたということでしょうか。

(事務局)

はい。炭焼き小屋周辺については、事務局と有志で片づけ、流され残った囲炉裏も解体撤去しました。残されたフェンスにくっついてた漂着物は全て取り除き、可燃、不燃物を分別処分してきれいな状況になっております。

(明星大学事務局次長兼地域交流センター長 滝井 寛 様)

先日、事務局から我々にご提案いただいたのですが、「多摩川子ども環境シンポジウム」に関して、当学の学生にお手伝いしてもらえないかという件について、これから事務局と細かく詰めていきたいと思っております。本学にはボランティアセンターがあり、学習ボランティア以外にも近隣児童の支援をしておりますので、「多摩川子ども環境シンポジウム」だけでなく、その他についても何かお手伝いができるかもしれませんので、事務局と細かくご相談していきたいと思っております。現実的かどうか分かりませんが、例えば「川釣り」について、本学の学生が子どもたちと一緒に何かできるかもしれませんし、「多摩川子ども環境シンポジウム」の司会の子が明星中学校の生徒だったということもありますので、具体的なことは今後ご相談させていただき、実現させていきたいと思っております。

(東京シティガイド 澤田 實 様)

先ほどのPR動画が完成したら、私の Facebook に載せたいと思っております。1回だけだとあまり効果が無いかもしれませんので、1～2カ月に1回掲載したいと思っております。

YouTube もひとつの方法かもしれませんが、せっかく作るのですから、どう広報していくか、それ次第だと思います。

(特定非営利活動法人緑の大地会副理事長 松本 朗 様)

ひとつご紹介させていただきます。もともと多摩川フォーラムとの縁で、「多摩川夢の桜街道」の札所のひとつである龍珠院さんと当 NPO が繋がりました。ご住職は自費で桜を沢山植えて、限界集落だった村を、花が咲いている時期だけでも良いから少しでも若い人たちに来てもらいたいと、桃源郷をつくるために資金集めや助成金申請をしています。我々 NPO も同じようなことをして、ある程度お金が貯まると桜や桃を植えに行っています。植樹の際、我々と一緒に活動しているのが、都内でゴスペルを歌っている女性グループで、それぞれ生徒さんが一杯いるので、その人たちが一声掛けると沢山の人が集まります。植樹や下草刈りに毎回40～50人集まるので、あらかじめ西東京バスに言っておくと、駅から龍珠院まで臨時バスを用意してくれます。ご住職も喜んでくれるし、植樹する我々も楽しいです。「多摩川夢の桜街道」八十八ヶ所の桜の札所には、桜を所有する人たちのこういった想いがそれぞれあるかもしれませんので、それらを掘り起こしてみると拮がりがあるのではないかと思います。

(富国生命保険相互会社立川支社市場開発グループ課長 梶田 俊樹 様)

先ほどPR動画を見ましたが、非常に上手くつくられていて、どこかの代理店でつくったのかと思ったら、事務局で制作したと聞いてビックリしました。予算的なものもあると思いますが、いかに活用していくかが大事だと思います。YouTube や Facebook、また街の大型ビジョンは立川にもありますし、そういったものを活用すると良いのではないかと思います。

(株式会社JTB 東京多摩支店営業第一課長 坂本 達也 様)

私は立川に来て1年足らずなので、なかなか思いつくことは無いのですが、旅行会社でも、地域からお客様を出すのではなく、地域に人を取り込もうと、色々動いております。PR動画で知ってもらうのも大事だと思いますが、実際に来てもらうには、なかなかハードルが高いところもあります。多摩川を知って、来てもらって、好きになって、自分事になって、初めて自分の中に入ってくると思います。多摩川には素晴らしい素材が沢山ありますが、以前私が居た千葉から見た感覚では、差別化ができていないということも考えられると思います。多摩川とこの地域でしかできないこと、ここならではの価値、ここに来させる尖ったものを磨いていかないと、なかなかお客様はこちらに来てくれません。「多摩川酒蔵街道」の飲み比べセットを売ってほしいという声があるということは、プレミアムが付いてくることだと思いますし、そういったことを存分に活用しながらPRしていければ良いのではないかと思います。

(東急株式会社社長室サステナビリティ推進部グループ企画担当課長 金澤 克美 様)

我々もこういった活動の場に顔を出す中で、将来どういった活動をすべきかというご意見をいただく機会があり、確かにそうだなと思ったことは、「おじさんたちが雁首揃えてそういうことを語っていても何もできないでしょ。世の中半分は女性なんだし、半分は若者なんだし。そういう力を活用しようとして動いていかないとダメですよ。」と。例えばSNSで発信したり、動画をつくったりというのは、若者にとってスマホひとつで簡単にできてしまうことなのです。見やすさ、聞きやすさもよく勉強している彼らにしてみたら、こんなに潤沢に資金があって、自由に活動できる、本当に羨ましい環境だと思います。学生さんたちからは、数千円の交通費があれば何でも活動できるという話を沢山聞くので、そういうところに門戸を開いて仲間にして、我々と子どもたちの中間の世代に協力してもらえると、こういった議論でも良いアイデアが出るのではないかと思いました。日頃私が言われていることをお伝えしました。

(ふれあい移動水族館館長 山崎 充哲 様)

私は現場で動いています。子どもたちを連れて川に行くのが基本です。羽村市と八丈島の「川釣り」事業は私も参加しましたが、実は八丈島には川がありません。子どもたちは川を見てビックリしていました。八丈島だからといって魚が沢山釣れるのかといたら、そんなに釣れるわけではないそうです。マス釣り場で魚がポコポコ釣れるし、その場で焼いて食べられるので、非常に有意義な時間が過ごせたのではないかと思います。そういった野外での活動は、NEC、NTT、二子玉川の子ども会、インターナショナルスクールからも要請があります。本日までご出席の皆さんも、いつでも連絡ください。企画があれば、子どもたちを連れて川で安全に遊ばせることができます。

先ほど図師さんがおっしゃったように、羽田空港では毎日何十万人の人が飛行機の中から多摩川を見えています。しかし、その存在にほとんど気が付いていません。実は3年前から、2020年に向けて、空港の中に水族館をつくりたいと国会議員を通じてやってみたのですが、実現できませんでした。お金が無いという理由で断られました。100万円くらいあればできるんですけどね。今からでも間に合うのであれば、国際線の出発・到着ロビーに、ちょっとした多摩川ミュージアムのような、多摩川の歴史や東京との関係みたいなものを展示できたら良いなと思います。水道水には多摩川の水が20%ほど含まれています。80%は利根川ですが。羨ましいことに、羽村市は地下水源で多摩川の伏流水を飲んでますから、多摩川流域で一番美味しい水を飲んでいるのは羽村市だと思います。インバウンドを含めて、どうやって皆さんに知っていただくかが最重点で、中身は何でもありだと思います。御岳山に行くこともありだと思います。私は御岳山が大好きですので。もちろん青梅で多摩川を見させていただくのもありです。一方、大田区が多摩川はどんなんだろうと、土手から多摩川の匂いのする空気を吸っていただきたいですし、できれば川で手を洗っていただきたいです。この1ヵ月間、多摩川で手を洗った方はい

らっしゃいますか。何人かいますね。それが大事です。自分たちの足元で何が起きているかを感じなければ他人に伝えることはできません。今日ここに来ている方は発信力のある方で、ある程度の地位にいる方だと思いますので、部下も含めてご家族の方に「多摩川に行ってみませんか」と発信してみてください。それが難しいというのであれば、お手伝いはいくらでもできます。私だけではありません。多摩川フォーラムには素晴らしい方が沢山います。色々な形でできると思いますので、事務局のほうへご連絡をいただければと思います。

(森林総合研究所多摩森林科学園総務課長 川村 栄 様)

私は子どもと釣りをやっているのですが、先ほどのビデオを見た時に、自分の興味があるものには目がいきます。小さいころに経験し、大人になってまたやりたいと思えるようなものを子どものころに経験させていただければと思います。

(狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任 池田 優 様)

新規事業について、先ほどインスタの話が出ましたが、若者や外国人を取り込むには、インスタ映えスポットが有効なのではと思います。多摩川流域にもインスタ映えするスポットはあると思いますので、作品展をやって、優秀作品にはスポットとして認定したらどうでしょうか。インスタ映えスポットがあれば、若者や外国人が多摩川に足を運ぶ機会を創出できるのではないかと思います。

(公益財団法人東京市町村自治調査会総務課長 空閑 浩一 様)

多摩川フォーラムのPRについてですが、各自治体のホームページに多摩川フォーラムのリンクを貼ってもらう形をとったらどうでしょうか。自治体のホームページにアクセスする人は多いと思いますので、そこからリンクしてもらえればお金もかからないのでPRしやすいのではないのでしょうか。自治体ホームページのトップページにあるバナーは有料ですが、関係団体であれば無料でリンクを貼れると思います。

新規事業については、細野先生の大学等でコンベンションのようなものを開き、表彰して、そのアイデアをパクってしまうというのも良いのではないかと思います。要は若い世代の意見を取り入れていくのも大事ではないかと思います。

(細野会長)

有り難うございました。皆さまから有益なアイデアやご提案をいただきました。心から感謝いたします。

6. 総括・閉会

(細野会長)

最後に、副会長に一言ずつお願いします。

(小倉副会長)

皆さんから大変有意義なご意見をいただき、有り難うございました。大変参考になります。もう言い尽くされたことですが、2つ言いたいと思います。一つは、新しい活動よりは、今までずっと素敵な事業が継続されていますので、そういう事業を見直してレベルを上げていくことが大切なのではないかということ、二つ目は、以前から言われてはいたのに実現しなかった、外国の方へ分かりやすいものにしていくこと、どういう事業になるか分からないのですが、外国の方をターゲットにしたアイデアを考えていくのも重要なのではないかと思いました。

(平野副会長)

今日は東急グループさんから2人ご出席いただいでいて、そのうち金澤さんはサステナビリティ推進グループに所属されていて思い出したのですが、サステナブルという言葉を使った教育の言葉で「ESD(Education for Sustainable Development、持続可能な開発のための教育)」があり、文部科学省で10年以上前に立ち上げられ、10年計画で定着した後、当時文部科学省だけだったのが、環境省も加わってお金を出し合ってESD活動支援センターを作りました。毎年12月に全国フォーラムが行われ、私が司会を務めました。その際、担当者に多摩川フォーラムのことを話し、「私たちは軸に経済も入っているんですよ」とお伝えしてホームページもお見せしたら、「これはまさにESDですね」と反応してくださいました。文部科学省は、ほかの省庁と違ってものすごくボランティア精神を求められるので、そこからお金がもらえることはないかもしれませんが、提案として、今年12月の全国フォーラム大会で、多摩川フォーラムの事例発表の枠をいただけるように、事務局で動いてみたらどうでしょうか。

東急財団の副教材について、学研さんを通して物語を入れてくれるということで、完成を心待ちにしているところです。雪女も入れてくれているので、ラフカディオ・ハーン翻訳第一人者の池田先生にもご協力いただき、校正をお願いしましたが、その時期がちょうど入院されている時だったので、お礼をするためにも、完成する少し前に教えていただければと思います。教材自体は大変良い内容で、その中に入れていただいで有り難うございました。

多摩川をどのようにしたら有名にできるかですが、私は「多摩の物語」で地域の民話を掘り起こして草の根的にやっていきたいと思っております。金沢出身の文筆家で文豪の室生犀星が執筆した「あにいもうと」という小説は、多摩川の河川工事をする職人さんの物語のシーンから始まり、そのご家庭の子どもたちの話なのです。恋愛沙汰も入ってきます

が、京マチ子主演で大ヒット映画にもなりました。こういった、映画になったものが外国人に効果的に伝わることもありますので、あの手この手で多摩川に引っかかるものを並べてホームページに掲載しておき、それを英訳するなり翻訳しておく必要があると思いました。これからも皆さんと一緒に、多摩川フォーラムを推進していきたいという気持ちが、今日、貴重な情報交換をできたことで、ますますその想いが強くなりました。有り難うございました。

(細野会長)

有り難うございました。ちょうど時間です。今日は密度の濃い議論ができました。改めてお礼を申し上げます。それでは、令和元年度・第2回運営委員会をお開きにします。有り難うございました。

以 上

(美しい多摩川フォーラム事務局)